

【観光まちおこしプロジェクト2024】 プロジェクトAフィールドワーク in 福島県川内村

2024年7月30日（火）、31日（水）の2日間にわたり、今年もプロジェクトAの企画づくりのためのフィールドワーク（現地調査）が行われました。

プロジェクトAメンバーが取り組む「大学生観光まちづくりコンテスト」では、観光まちづくりプランの企画立案作業にあたり、対象とする市町村の地域資源掘り起こしのための現地調査、および現地で復興に向けた活動に前向きに取り組んでいる方（キーパーソン）とのコミュニケーションをはかることが条件づけられています（※オンラインの活用も可）。

■全国大学生観光まちづくりコンテスト■ [大学生観光まちづくりコンテスト2024 \(gaku-machi.jp\)](http://gaku-machi.jp)

大学生が自ら対象市町村で調査を行い、地域資源を活かした観光まちづくりプランを提案しその内容を競うコンテスト。過去の受賞企画からは事業化されたものもあり、観光まちおこしプロジェクトCの「刈草ペレット」もその1つ。

今年は、各チームともメインの対象市町村を「福島県川内村」とし、1泊2日で村内をくまなく訪問しました。

国指定天然記念物であるモリアオガエルの生息地であり、「蛙の詩人」と呼ばれた草野心平が愛した川内村は、阿武隈高地の中央部に位置し、村面積の9割方を森林が占める自然豊かな村。訪問中は天気にも恵まれ、とても緑が眩しかったです！



村のあちこちでみかけたカエルのオブジェと
かわうちワイナリーの一面に広がるブドウ畑



大学の中だけでは出会えないような人達との交流、触れたことのない自然体験もフィールドワークの醍醐味

様々な情報がネットで簡単に手に入る現代でも、直接見たり、触れたりして初めてわかることも多いもの。学生達はこの2日間でどんな気づきを得たでしょうか。

お話をうかがった川内村の方々には、皆さんとてもフレンドリーに迎えてくださいました。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。